

作新学院同窓会報

発行 作新学院同窓会 〒321 0027 宇都宮市埴田1 3 27 船田教育会館内 TEL028 621 9083 FAX621 3941



創立117周年記念学院祭の会場。



同窓会総会で新会長決まる

● 就任の挨拶

会 長 柿 沼 宏

作新学院同窓会の皆さん、お元気ですか。

私は今回、母校作新学院の、同窓会会長という大役を仰せつかりました柿沼宏でございます。

身に余る光栄とその責任の重大さに、身も心も引き締まる思いで一杯でございます。

どうぞ、会員の皆様方の心強いご協力ご支援を、宜しくお願い致します。

さて私共の母校作新学院は今年、創立百十八周年を迎えることになりました。

建学以来百十八年という、正に一世紀を超える長い学院の歴史と、その歴史に因って培われてきました素晴らしい伝統が此の二十一世紀に脈々として受け継がれて来

ているのでございます。

私ども同窓生としましても、私学の名門校として全国的にも著名な、我が母校作新学院の活躍ぶりには喜びを禁じ得ません。

そして、今や我が作新学院の同窓会は、会員数九万人余りを数える一大組織に成長して参りました。

同窓生の皆さんは、それぞれ男女の別、年齢の差など、いろいろと条件の違いはあると思いますが、同じ作新学院の同窓生で、皆仲間なのです。誰の胸にも「一校一家」の教訓は生きています。

どうぞ、あらゆる面で連携・交流の輪を広げ、お互い同志の協力と親睦を図っていただきたいと存じます。



生まれかわる作新学院高等学校

学院長 船田昌子

同窓会の皆さま、明けましておめでとうございます。2002年も不況の嵐が吹き荒れ、治安の悪化も進行するくらい一年になってしまいました。2003年は少しでも明るい展望が開けることを心から願っております。また学院も厳しい少子化時代を迎え、この困難な時代を乗り越えるべく、全教職員が力を合わせて努力を続けてまいります。

そうした中、作新学院高等部は新しく生まれかわります。これまで英進部にあった英進科進学科を発展的に解消し、グレードアップした「国立選抜コース」をはじめ3つのコースを設置して、1ランク上の進学校をめざします。また長く親しんできた男子部・女子部を統合して、男女共学の「総合進学部」

をスタートさせます。大学進学系列をはじめ3つの系列に分け、生徒の個性や進路に従ってよりきめ細かな教育を行います。

また情報科学部には、これまで女子部にあった生活科学科を移動させるとともに、各科ともより専門性を高め、この不況下にあってもほぼ100%の就職率を維持していきたいと思っております。

このような作新学院高等学校の新たなスタートとともに、従来からの「一校一家」の校風を生かし、私学の雄としての責任をきちんと果たして参ります。同窓会の皆様のお力添えを心からお願い申し上げます。

同窓会の団結を期待する

船田教育会理事長 船田元



作新学院同窓会の皆様、新年おめでとうございます。昨年は日本経済が一段と落ち込みましたが、一方でノーベル賞のダブル受賞など勇気付けられるニュースもありました。同窓会も柿沼新体制のもと、若い方々が活躍をされており、大変心強いことです。

母校作新学院は創立以来、118年の長い歴史を重ねることとなりました。また高等部からの就職率もこの不況下にありながら、ほぼ100%を達成しております。これは各地・各企業・各団体に散らばっている同窓生約9万人のネットワークのお蔭だと思っております。間もなく創立120周年を迎えようとしていますが、より一層同窓会員相互の団結と母校愛を強めていただくため、同窓会と学院の共同作業でいくつかの事業を立ち上げたいと思っております。

まず第一に同窓会名簿の整備です。今までは卒業

年次でまとめられていましたが、今回からは卒業時のクラス単位で整備しつつあります。その方が担任の先生やクラス幹事との連絡が取り易く、クラスごとの活性化が図られるかも知れません。次にこの名簿をもとに同窓生全員に、年に一回は学院の便りが届くようにすること。また卒業後10年などの節目ごとに、皆さんを学院に招待することも考えられます。

さらには120年を前に、作新の過去から現在に関する写真や、古い制服やユニフォーム、昔の通知表や記念品などの「お宝」を一堂に集めた、「大作新展(仮称)」のようなイベントも考えてみたいと思っております。

日本も郷土も危機を迎えている今だからこそ、同窓会と学院が力を合わせ、「一校一家」の校風の高揚と「作新民」の建学の精神の進展を図るべきではないでしょうか。



同窓会と作新ネットワーク

副院長 船田 恵

同窓会の皆様にはいつも温かなご支援とご指導を賜りまして、誠にありがとうございます。

作新学院もお蔭様で創立118周年を迎え、同窓生の皆様も遂に9万人の大台を超えることとなりました。明治・大正・昭和そして平成と激動の時代を、常にその学院名通りより広くより高い社会の創造を目指し、新たな人材を育成・輩出して参りました作新学院ですが、来年度からは、高等部の校名が「作新学院高等学校」に、また男子部と女子部が統合され新たに「総合進学部」が誕生し、英進部も大きくグレー

ドアップするなど、新たなチャレンジとともに更なる飛躍をお誓いする次第です。

同窓会の皆様にも、あらゆる分野や年代にわたる貴重な「作新ネットワーク」をもっと有機的に活用して頂けるよう、現在、学院として同窓会名簿の更新や各種イベントの企画などを実行しておりますが、若返った同窓会役員の方々と更に密接な連携のもと、より一層力を尽くしてまいりますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

612人が大学へ進学

平成13年度の卒業生の進路状況

高校生をどまぐ環境と高校生の進路意識は、年々変化しています。平成13年度の高等部卒業生の進路も、景気低迷・長引く不況・少子高齢化・高度情報化・グローバル化などの社会情勢の変化が敏感に反映されたものとなりました。

今春の高等部卒業生は2,237人でした。進路の内訳は、四年制大学へ612人、短期大学へ167人、専門学校(予備校を含む)へ693人が進学し、就職・自営・家事従事などが765人でした。昨年に比較して専門学校、就職などの割合がやや増加しています。

今春の大学入試の特徴は、大学入試センター試験志願者が初めて60万人を突破したことが最大のポイントであったといえます。センター試験の平均点は昨年に引き続きダウンしましたが、景気低迷を反映してか、国公立大学の志願者数は昨年を上回り、5.5倍という高倍率の競争になりました。一方、私立大学入試では、志願者数が2年連続で増加し、難易二極化の傾向はさらに顕著となり、大都市の難関私立大学は、昨年以上の激戦となりました。

このような状況の中、国公立大学には筑波大に2人、宇都宮大に3人をはじめ、東京農工大・埼玉大・群馬大などに18人が合格しました。合格者数は昨年と比較して大きく減少してしまいましたが、要因として難関上位校への強気の出願があげられます。また、

私立大学については、慶應義塾大・早稲田大・国際基督教大・明治大・青山学院大・中央大・法政大・東京理科大・東京女子大などの難関大学を含めて780人が合格したことは、大いに称賛できます。

専門学校は、社会にしっかり根をおろし、短大を上回る進学率を維持するまでになりました。高等部の卒業生も、高資格の取得、卒業後の就職を視野に入れ、医療・衛生・社会福祉系をはじめ多くの分野に693人が進学しました。

就職においては、景気の停滞感が増し、県内の高校生求人倍率は0.28倍と一層狭いものとなりました。それでも県内外の企業から499人の内定をいただきました。

今後も、生徒一人ひとりの志望・適正・能力を把握したきめ細かな指導により、一層の成果を上げるよう努力をしていきます。

平成13年度 卒業生進路先一覧

部・学部	進路	卒業生数	4年制大学へ		短期大学	専門学校	就職	自営 家事従事	その他
			卒業生数	延べ合格者数					
英進部	英進科	150	99	161	12	37(31)	0	1	1
	進学科	145	94	119	15	37(18)	0	3	0
	計	295	193	280	27	70(49)	0	4	1
男子部	普通科	843	294	299	19	264(26)	167	14	85
女子部	普通科	503	46	55	96	163(21)	103	12	83
	生活科学科	67	1	1	6	23(8)	26	4	7
	計	570	47	56	102	186(29)	129	16	90
情報科学部	流通経済科	190	27	27	9	44(2)	90	10	10
	情報科	133	26	28	4	55(6)	35	13	0
	電気科	82	7	7	0	20(1)	48	2	5
	電子科	45	4	4	1	17(1)	21	0	7
	美術デザイン科	79	14	17	5	42(10)	9	9	0
	計	529	78	83	19	173(20)	203	34	22
合計		2237	612	718	167	693(128)	499	68	198

()内は未進学者の数

昨年の6月同窓会総会

平成14年6月25日 宇都宮市 アピアにおいて同窓会総会を開催いたしました。任期満了にて、和田 藤吾 会長から 柿沼 宏 新会長へその任を無事渡すことができました。総務企画部、財務組織部、広報部、文化厚生部の、各部長も顔ぶれを一新に「より充実した同窓会を」を、合言葉に各部の努力が実を付けつつあります。

会長 = 柿沼宏 (高8卒)
 副会長 = 大淵皓之 (高10卒) 坂本昭 (高8卒)
 伴清 (高12卒) 野沢慶次郎 (高8卒) 福田弘子 (高7卒) 堀静子 (高8卒)
 監事 = 鈴木邦彦 (高10卒) 床井トシ子 (高8卒)
 横山正三 (高16卒)
 幹事長 = 金田真麒 (高12卒)
 副幹事長 = 屋代靖夫 (高6卒) 石田雄亮 (高3)
 馬場廣 (高7) 白井正雄 (高8) 白井好恵 (高8)
 事務局長 = 鈴木勲 (商6卒)
 事務局次長 = 船見正 (高17卒)

総務企画部

部会長 = 三村松司 (商3卒)
 副部会長 = 福田勝江 (高8卒) 大橋承夫 (商4卒) 坂本功樹 (高27卒)
 部会員 = 植平千枝子 (高13卒) 大橋智夫 (高14卒) 生尾晋平 (高14卒) 渡辺進 (高25卒) 加藤孝佳 (高25卒) 小川哲弥 (高28卒) 伊藤洋史 (進2卒)

組織財務部

部会長 = 安藤寛樹 (高22卒)
 副部会長 = 沼尾雅由 (英7卒) 小林勝郎 (高36卒) 川村恵子 (作女4卒)
 部会員 = 増淵仁一 (高18卒) 坂本昭一 (高20卒) 野沢洋一 (高26卒) 鈴木俊彦 (高28卒) 星野

洋三 (高30卒) 新里治久 (高35卒) 鈴木了 (高36卒) 小野朋之 (高38卒) 矢古宇啓子 (高15卒) 近藤悦子 (高22卒)

広報部

部会長 = 荒井徹 (高20卒)
 副部会長 = 川口修一 (高21卒) 小牧英夫 (高33



卒) 加藤久美子 (作女4卒)
 部会員 = 福田啓子 (高25卒) 高橋光男 (高31卒) 長坂次良 (高35卒) 赤羽克孔 (高43卒) 須釜晃世 (進7卒)

文化厚生部

部会長 = 福原洋 (高15卒)
 副部会長 = 熊代俊一 (高11卒) 蛭沢幸子 (作女3卒)
 部会員 = 今泉巨夫 (高14卒) 東啓司 (高16卒) 矢田部フミ子 (高13卒) 高梨義久 (情18卒) 福田秀子 (高23卒) 佐藤竜一郎 (高39卒) 高松悦子 (高39卒)

大 長 (宇都宮の夢餃子)

<http://www.kkdcof.co.jp/>
 代表取締役 **荒井 徹** [昭和43年卒]
荒井 佑輔 [平成9年卒]
 宇都宮市中一の沢町1-1 ☎028-635-0298

安藤設計 (一級建築士事務所)

<http://www3.ocn.ne.jp/andoarc/>
 代表取締役 **安藤 英夫** [昭和43年卒]
 専務取締役 **安藤 寛樹** [昭和45年卒]
 宇都宮市山本1-3-14 ☎028-625-2875

荒川歯科クリニック

理事長 **荒川 敏明** [昭和48年卒]
 宇都宮市西川田本町4-1-3 ☎028-645-5072

イナミ工業

取締役名譽会長 **稲見 邦男** [昭和18年卒]
 代表取締役社長 **稲見 眞佐起**
 宇都宮市花房1-9-11 ☎028-634-5265

新四部長の挨拶



希望一新

総務企画部会長 三村 松司

16歳の春、希望に胸躍らせて作新学院に入学してから44年後、未知への不安と懐かしさを胸に平成14年4月、第二の人生のために作新学院法人本部に“再入学”しました。卒業以来、クラス会や柔道部OB会には幹事役として積極的に取り組んでいましたが、同窓会にはこれまで何一つ貢献出来ず、申し訳なく思っていました。今回、計らずも、総務企画部会長を仰せつかり、身の引き締まる思いです。今後は、部会のメイン事業の総会、新年成人祝賀会等に一人でも多くの同窓生、特に若い人たちを招き「有意義だった。来て良かった」と言ってもらえるような環境づくりを図っていこうと、部会員一同頑張っているところです。皆様方のご協力をお願い致します。



広報に期待を

広報部会長 荒井 徹

新しく選任されました荒井徹でございます。作新学院高等部卒業生のため、また学院発展のため、広報活動に専念いたす所存です。今年度はまず、同窓会のホームページを新しく立ち上げます。内容は同窓会活動の案内・学院の諸行事の案内、学院同窓会への提言掲示板等々ですのでぜひご期待いただきたいと思います。

年1回発行の同窓会報についても内容を充実させ、同窓会の存在感と強固な組織拡充の支援に努力いたします。

広報部は、他三部会の活動状況及びクラス会等の情報を積極的に掲載いたします。



“組織強化と活性化”を

組織財政部会長 安藤 寛樹

118年の歴史を持つ全国一の作新学院高等部。卒業生89,993名の日本一の同窓会である、だが残念な事に卒業生が多く十分に組織化されて無いのが現状です。組織・財政部会長をおおせつかり以下2つの事を行いたいと考えております。一つは年度内に全学年別代表を選出し縦の組織を立ち上げ、その後、横の組織、各学年会・クラス会等を開催してもらい縦・横のバランスの取れた同窓会組織を創りたいと思います。

二つ目は“同窓会マップ”作りです。県内及び全国各地の卒業生の商店・企業等を紹介し、同窓生同士または在校生との交流を図っていただければと考えております。

以上の目標を掲げ、同窓会の組織強化並びに活性化を図り、一校一家のもと、作新学院を盛り上げましょう。



より一層輪を大きく しよう

文化厚生部会長 福原 洋

柿沼新会長の下、部会長という責任の重さに痛感を致しております。文化厚生部の主な活動は、9月に実施されます学院の文化祭に同窓会として出展し、昨年は同窓生が持ち寄ったバザーや各諸先輩方々の協賛、協力を得て即売会を実施し、売上金の一部を下野奨学会交通遺児基金へ寄付しました。秋にはバスツアーを企画し和気あいあいと旧交を温める良い機会でもありました。

昭和38年普通科7組は、10年位前より毎年、担任、鈴木邦光先生を混じえ、気持ちは若返り、仕事を忘れ、和やかに一泊のクラス会を行っております。3年の時は野球部ではありませんが「選抜大会の優勝校は夏の全国大会に優勝できない」というジンクスをついに破り、一生忘れる事が出来ない“春夏連続優勝”した昭和37年でした。

今後とも、より一層「輪を大きく」「作新の風」を吹き起こそうではありませんか。

イマイズミ (宝石・貴金属)

代表取締役 今泉 臣夫 (昭和37年卒)

宇都宮市仲町1-13 ☎028-622-3573

岩村 建設

代表取締役 岩村 隆之 (昭和35年卒)

宇都宮市東峰町3081 ☎028-663-3591

風 見 鶏

<http://www.toritei.com/>

代表取締役 今泉 知 明 (昭和49年卒)

宇都宮市中央1-6-9 ☎028-633-4105

泉 商販 (全国有名味噌特約店)

代表取締役 大木 利夫 (昭和35年卒)

宇都宮市中央3-8-10 ☎028-634-7936

『作新学院高等部』は生まれかわります

我が作新学院は幼稚園から大学院までの総合学園として、創立以来117年を迎え、今では約9万人の同窓生がいます。しかし、少子化などの理由で学校間の入学生徒確保競争が激しくおこっているのが現状です。そうした時代の変化に対応するため作新学院も、まずは主体である高等部が2003年度より大きく変わります。

今まで慣れ親しんだ高等部の校名を「作新学院高等学校」と校名変更をし、英進部・男子部・女子部・情報科学部がそれぞれ次の様に変わります。



英進部は、従来の英進科をさらにグレードアップし「国立選抜」「国・私立」「中高一貫」の3コース制を導入し、国立大学や著名私立大学への合格を目標として、少人数制によるよりきめ細やかな指導を行います。個別指導や習熟度別授業などの導入に

作新学院高等学校組織図



元氣の里 (特別養護老人ホームケア・ハウス)
事務長 **大久保好枝**〔昭和39年卒〕
宇都宮市幕田町1456-1 ☎028-655-2611

小山市市議会議員
議会議長 **大山典男**〔昭和38年卒〕
小山市小宅449 ☎0285-37-0539

御菓子司 枅金
<http://www.masukin.com/>
大淵皓之〔昭和33年卒〕
宇都宮市曲師町3-9 ☎028-633-2769

落合東光園 (造園・土木)
代表取締役 **落合功**〔昭和37年卒〕
上三川町川中子921 ☎0285-56-3751

とらや (和洋菓子販売)
代表取締役 **柿沼宏**〔昭和31年卒〕
宇都宮市西1-3-6 ☎028-636-5585

金田商会
代表取締役 **金田真麒**〔昭和35年卒〕
宇都宮市松原1-5-5 ☎028-622-1846

川口写真館
代表取締役 **川口修一**〔昭和35年卒〕
宇都宮市北一の沢町21-19 ☎028-622-4641

アーリーハウス (防犯リフォーム)
代表取締役 **小林勝郎**〔昭和59年卒〕
宇都宮市岩曾町1145-42-102 ☎028-661-0220

『作新学院高等学校』 に名称変更いたします。

英進部

従来の英進科をグレードアップした『国立選抜コース』を設置し、難関大学への合格をより確実にします。

総合進学部

一人ひとりの個性・能力を最大限に伸ばす多彩なコースの設定。大学進学系の中に特進選抜を設置し有名国公立大への進学を約束します。

より、大学受験に対応した徹底指導を展開し、難関大学への合格をより確実にします。入学者のうち、特に成績優秀な生徒には「創立者船田兵吾記念奨学金」が給付されます。

男子部と女子部は、統合して総合進学部(男女共学)となり「大学進学」「専修進学」「キャリア」の3系列に分かれます。大学進学系列の中にある、特進選抜クラスは、従来の英進部進学科に匹敵する学力レベルのクラスで、入学試験結果による成績上位者のみで構成され有名国公立大学への進学を約束いたします。

情報科学部は、女子部の生活科学科を移行し、男子の入学も可能となります。各科とも、専門分野ごとに充実した授業と実習により、専門的な知識や技術を生かし、次代を担うスペシャリストを育成します。各種検定試験での高い合格率をあげています。

高等学校全体として、男女共学で3部21コースが

設定され、生徒一人ひとりの個性を重視した、多彩な学習ニーズに応えるコース制教育システムとなります。

もちろん、3年間のキャンパスライフを支える施設設備も充実され、最新のコンピュータやLL教室などを備えます。生活サポート面でも、専門カウンセラーによる生徒相談室も設置します。2002年度より着用している新制服は、全国よりデザイン画を公募し公開審査会を行って決定した、自信の品質・デザインです。基本となるスーツ・ブラウス・靴・鞆とともに、セーターやサマーベストなどを設定。「清潔感があり上品」と内外の評価が高い新制服となりました。

また、幼稚園の名称が「作新学院大学女子短期大学附属幼稚園」から「作新学院幼稚園」とわかりやすくなります。

21世紀を迎え「未来を切り拓く作新健児」の使命を胸に、作新学院の歴史に新たな1ページが加わります。

飛び込みの桜井君が全国制覇

硬式野球部は春・秋の県大会で栄冠

運 動 部

平成14年もまた、作新の名を全国に知らしめる旋風があちこちで吹き起こった。

水泳部では、飛び込みの桜井薫が各大会で大活躍。日本選手権水泳競技大会(男子)のシンク口高飛び込みで3位入賞を果たしたのを



国体の表彰式で賞状を掲げる桜井薫(中央)

皮切りに、インターハイの板飛び込み・高飛び込みでそれぞれ3位と4位の入賞を果たし、学校対抗準優勝の原動力となった。そして、国体の板飛び込みでは、1本で「前宙返り2回半1回ひねり」を見事に決め、飛び込み競技勢としては栃木県初となる全国制覇の偉業を成し遂げた。競泳では、国体において少年男子Bの200mバタフライに出場した柴田洸輔が堂々の6位入賞を果たしている。



インターハイ第3位のボクシング部菊地智則(左)と吉沢章統(右)

ボクシング部では、インターハイにおいてラ

イトミドル級の菊地智則とフェザー級の吉沢章統がそろって3位に入賞。精神力の強さと身体能力の高さを周囲にアピールした。また、同部では10月18日から12月上旬までの約2ヵ月、世界最高峰の実力を誇るキューバ国から、ナショナルチームのコーチを務めるエルネスト・アローチャ氏を招聘し、ご指導を仰いだ。部員たちの活躍が今後ますます期待できそうである。

自転車競技部では、インターハイのポイントレースに出場した菊地純一が6位に入賞。24kmの長丁場を頑張りぬいた健闘が光った。

硬式野球部は、夏季県大会こそ4回戦で惜しくも涙を呑んだものの、春季および秋季県大会では前評判どおりの圧倒的な実力を発揮し、それぞれ10年ぶり12回目、2年ぶり14回目の優勝を飾った。また、県高校野球連盟から発表された優秀選手としては、佐藤裕一、小嶋圭佑・前原純司・岡田幸文・松崎多加志(以上春季大会)、松崎多加志・岡崎圭佑・吉田高大・佐藤慎也・大沢裕介(以上秋季大会)らが名を連ね、選手層の厚さを改めて感じさせた。

軟式野球部は、20年連続の県代表として臨んだ全国選手権北関東地方大会で2年連続18回目の優勝。8月下旬に兵庫県明石市で行われた全国大会では、1回戦



秋季大会を制した硬式野球部(清原球場にて)

で近畿代表の比叡山高校(滋賀)と対戦し、延長10回を戦い抜いて惜しくも2-3と敗れたものの、伝統校作新の底力を全国にアピールした。

小牧製作所(鉄骨・木造住宅・増改築)

専務取締役 **小牧 英夫**〔昭和56年卒〕

宇都宮市新町1-4-4 ☎028-634-2341

東野観光(旅のことなら)

常務取締役 **斎藤 操**〔昭和37年卒〕

宇都宮市平出工業団地19-8 ☎028-660-2441

大貫商店(紙一式)

早乙女ヒロ子〔昭和21年卒〕

宇都宮市二荒町9-3 ☎028-634-4131

坂本商店(業務用青果・漬物製造卸)

代表取締役 **坂本 昭**〔昭和31年卒〕

宇都宮市京町3-4 ☎028-633-4003

全国で努力・才能の華が開花

デザイン部の坂元君は高校生初の快挙

文化 部

精力的に活動する文化部においても、全国を舞台に努力の成果を認められた活躍ぶりが際立った。

デザイン部に所属する坂元友介は、「キリン アートワード2002」(キリンビール株式会社主催)に「息子の部屋」と題するクレイアニメーション(粘土を動かして制作した映像作品)を出品。過去最高の950点が寄せられるなかで、見事に奨励賞(最優秀作品賞1点、優秀賞2点



坂元作品「息子の部屋」の1コマ

に次ぐ8作品)を受賞した。同コンクールは、新鋭アーティストとの出会いと育成を目的として1990年に創設された公募展。多くのプロも参加するなかで高校生が受賞を果たしたのは、今年で13回目を数える歴史のなかでも初の快挙であり、坂元作品の完成度がいかに高いものかを物語っている。なお、受賞作品展として10月末から今年の2月下旬にかけて、東京・名古屋・大阪を会場として一般公開も実施されている。

書道部では、第11回国際高校生選抜書展(毎日新聞社主催)で阿波建多が準大賞に輝いた。“書の甲子園”と呼

ばれる同展には、世界各地から54,000人余りが作品を応募。このうち1次選考を通過した13,653点の中で、堂々の上位32位に入賞を果たした。同時に

団体の部では、北関東地区の優秀賞(第3位)も受賞している。全国高等学校総合文化祭においては、中原藍が栃木県第1位として県代表5人の中に選出され、会場となった横浜市民ギャラリーでの創作と交流会に参加。さらに第26回毎日全国学生書写書道展(毎日新聞社主催)においては、手塚友介と升田真由美の2人が



中原藍と作品
「写伝至広昌」

書写検準大賞(全国第9位に相当)を、高津幸穂が毎日新聞社賞(全国第17位に相当)をそれぞれ受賞した。日々の研鑽が、全国に通ずるハイレベルな技能を支えている。

吹奏楽部は、第8回東関東吹奏楽コンクールの高等学校Aの部において金賞を受賞した。このコンクールで同部が金賞を受賞したのは4年連続5回目。審査員の先生方からは「明るく、美しいサウンドは関東でも1」という高い評価を戴くことができた。

なお、10月14日(祝)には栃木県総合文化センターメインホールにおいて、第37回定期演奏会を行い、15曲に及ぶ演奏を披露。会場を埋め尽くした多くの聴衆からは拍手喝采が寄せられた。

昭和車両(重機の修理・販売)

代表取締役 坂本功樹〔昭和50年卒〕

宇都宮市上大曾町348 ☎028-624-8553

鈴木印刷

<http://www.sprintnet.co.jp/>

取締役会長 鈴木昌男〔昭和25年卒〕

宇都宮市平出町3751-11 ☎028-660-3555

割烹弁当の新一

<http://www.shinza.co.jp/>

代表取締役 鈴木郁夫〔昭和24年卒〕

宇都宮市今泉3-12-30 ☎028-622-8337

ホンダベルノ栃木中

<http://www.hondanet.co.jp/vt/>

専務取締役 高野 巖〔昭和29年卒〕

宇都宮市台新田1-1-370 ☎028-645-2621

同窓会投稿

楽しく…、懐かしい…

秘められた男女共学部活動
今も青春人生記〔高等部
15回卒〕 矢古宇 啓子

作新学院高等学校、男女共学おめでとう。学院を卒業して四十年に成ります。久し振りに一校一家の懐かしい匂いを感じました。それは、昨年文化祭の折、生徒たちの風貌は変わっても、輝いた目、素直な心は、何故か感動を覚えました。当時、私は、伝統ある美術部に入部しました。その世界だけが男女共学の部室でした。男子部昇降口の二階で、ニキビ顔で憧れと期待を胸に、人生観を悟りながらデッサンに励みました。先輩の技術を盗んだり、毎日がドキドキの部活でした。自転車通学で、目に焼きつく冬の夕焼け、燃える空を描きたい感動に駆られ、完成した作品は、新聞の評覧に載った嬉しい思い出があります。また学院弁論大会出場を機に、生徒会役員選挙の応援弁士を依頼され、各教室を騒がしく回った事が、人生の肥やしとなりました。また、忘れもしない三年間最大の贈りもの、昭和三十七年、春夏甲子園優勝、中学同期の友二名出場、最後のアウトの瞬間、見てられない心の動揺、そして作新学院校歌が感動的に聞こえてきました。見事「深紅の旗」を射止め、凱旋パレードは、大通り二十万の人波が一体となり経済成長と感動をもたらしました。私たちに自信と誇りをくれました。そして卒業の時、部活動の仲間との別れ。その頃は、真白な手袋での握手、「あゝ手袋外せばよかった。」と自転車を走らせながら悔やんだ青春の思い出、宝物一杯の学院生活でした。

私の青春時代

〔下中
43回卒〕 鈴木 莞支

私の青春時代は、戦前戦後にまたがる時を過ぎたため質素な生活を送った。戦時中の学校教育は文武両道の教育であった。小生は県下で常に優勝していた憧れの柔道部に入部した。稽古は厳しく終わると腹が減ってたまらなく授業料を「パン」や「せんべい」などに使ってしまい再度授業料をもらい親から叱られたことを思い出す。学年別の柔道大会では一年の時に三年生と闘った。相手に首を強烈に締められた為呼吸困難となり意識を失ってしまった。審判の篠原先生に息を吹き返してもらったがその瞬間は朝、目が覚めたような感じだった。勿論試合は小生の負けである。この経験を踏まえ練習に励んだのだが稽古中に鎖骨を折り3ヶ月ほど休んだことを思い出す。

卒業後、栃木県庁に就職したが既に先輩が県庁二里山会を作って同窓の親睦を図っていた。会員の中には柔道の先輩である古澤貞蔵さん(下中27回卒)福田重夫さん(下中33回卒)岩村栄さん(下中37回卒)をはじめ多くの先輩がおり、公私共に何かとご指導いただき有り難かった。

県庁勤務の後半は船田譲先生が知事になり副知事の推津弘之さん(下中41回卒)を中心に県庁二里山会も二百余名に達した。出納局勤務の責任重い職場をお蔭で大過なく過すことが出来た。これも知事さんを初め同窓の皆さんの温かいご指導の賜物と思っている。今でも作新学院の偉大さと同窓生の固い絆の有難さを感じている。

有限会社 インテリアアール タカノ

高野 博子〔昭和26年卒〕

宇都宮市上戸祭3-3-2 ☎028-643-6231

田中正平司法書士事務所

司法書士 田中正平〔昭和27年卒〕

宇都宮市材木町2-3 ☎028-638-5020

栃木県・熟田郵便局

局長 塚原 征文〔昭和38年卒〕

高根沢町伏久119 ☎028-676-1000

元氣の里(特別養護老人ホームケア・ハウス)

理事長 角田 和之

施設長 角田 充由〔平成5年卒〕

宇都宮市幕田町1456-1 ☎028-655-2611

東京下町再発見 東京湾クルーズバスツアー

文化厚生部

第八回を迎えるバスツアーは、文化厚生部会の意向と昨年参加した方々の熱き要望により、主旨として 同窓生広角参加 従来の史跡・名勝巡り 参加者全員で食事等を踏まえ東京下町再発見とした。昨年11月10日(日)、当日は船田 元先生の青年の会主催ソフトボール大会と重なり人数の確保、天候不順が心配であったが、前途を祝するの早朝から小春日で最良の旅行日和に恵まれ、64名の参加者によりバス2台で実施した。昨年にも増して参加者の方々は美男美女に富み、年齢層も若干若返りをしました。楽しみをバス全体に散りばめながら7時30分、船田 元先生に見送られ正門を出発。東北自動車道を南下、道すがら雲一つ無い富士山を望みつつ、富士山の足蹴りにより浅間山・三原山が怒って噴火しているとの話をガイドより聞きながら、バス道中はクイズ・ゲーム・歌と車内では楽しく可笑しくあつという間に東京に到着した。最初の見学地、寅さん記念館は東京の北東部、

江戸川のほとりに位置し、水と緑と下町の風情あふれる門前町にある。河川敷の矢切の渡し、大風を横目に見ながら次の目的地、両国へ。5回以来の参加者全員の昼食で、大いに語り、食し、本家ちゃんこ料理に舌鼓を打った。食後、散歩がてらに向った見学地、江戸東京博物館は両国国技館の隣に位置し、江戸東京の歴史遺産を守ると共に、東京の歴史と文化を振り返り、未来の東京を考える博物館である。時間にゆとりがなく見学出来ず後ろ髪を引かれる思いの参加者もいたようである。最後は隅田川のライン下り。江戸の情緒を受継ぎ、個性的な12の橋をくぐりぬける浅草より、日の出棧橋までゆっくりとした船の旅であった。一日、道路の渋滞もなく宇都宮の手前より「光満ちたり、涯しなき...」参加者の皆様と一緒に学院歌を歌い到着。参加者の協力により同窓生と楽しく親交を深める思い出の1ページを作ることが出来ました。(熊代 記)



新里建設

取締役副社長 新里 治久〔昭和57年卒〕
宇都宮市下砥上町1544 ☎028 - 658 - 2345

サンライズキョウヤ (各種新中古車販売)

<http://www.kyoya.info/>
沼尾 雅由 〔平成5年卒〕
宇都宮市川田町649-9(上三川街道沿) ☎028 - 657 - 0210

サンライズキョウヤ (鬼怒川京屋ホテル)

沼尾 成七〔昭和37年卒〕
自宅：宇都宮市石那田町1817 ☎028 - 669 - 2127

伴印刷

<http://www.bannet.com/>
代表取締役 伴 清〔昭和35年卒〕
常務取締役 伴 誠〔昭和62年卒〕
宇都宮市栄町6-10 ☎028 - 622 - 8901

同窓会女子部総会

女子部会長 福田 弘子



前回の同窓会女子部総会は台風到来で、それでも123名の方々が出席してくださいました。今回は晴天の同窓会となり、船田先生御夫妻をはじめ、7人の方々が招待し総勢137名集まりました。

同会は副会長兼会計の福田さん、堀副会長の開会のことば、女子同窓会長挨拶、そして、和田前会長へ女子部会長から花束贈呈、そして全女子部会長の乾杯に入りました。祝杯をあげ乍ら、この会場に昌子院長の声が聞こえない事に寂しさを感じた。又次に小牧蘭さんがシャンソンを、4曲歌ってくださいました。先輩後輩の方々は

皆それなりに、体の話や子供、孫の話をして、いつの間にか話は高校時代に戻り、皆、目が耀いて居りました。

あっと言う間に2時間半は過ぎ、あちらこちらで元先生、恵先生を囲んで記念撮影をして居りました、そして午後2時40分床井副会長の閉会のことば。

それからは学年別の部屋に入り、語り合う事になり、こんな立派な総会が出来たのも、先輩を初め3人の副会長のお陰です。ドジばかりしている私を3人の副会長がいつもフォローしてくれます。本当にありがとうございます。最後に嬉しかった事は、体の不自由な先輩に「とても楽しかったわ、又この次も出席しますね」と言う言葉に勇気付けられました。

創立記念の学院際にブース出展

バザーで大盛況!!

今年の学院際(10月28日・29日)には、同窓会の全体で参加との方針で各部会で検討されたバザーと果物・菓子・餃子の販売と決定し、役員はじめ各部会員の協力を受け、総合グラウンドの模擬店50張りのテントが並んで賑わいを見せた一画N022で販売開始、初日はあいにくの雨模様となったが当日限定の梨とどら焼き、そして同窓会(特に女子部の協力)の呼びかけで、家庭で不要となったお返しの商品を集めバザーを開き、又翌日は餃子の販売を行い、

大盛況の2日間であり、母校の発展に寄与することが出来、大満足の参加でした。

尚益金は、下野奨学金交通遺児基金へ寄付いたしました。



作新学院高等部 P・T・A

会長 小牧 伸敏

宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

作新学院 親 交 会

会長 堀 井 毅

宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

三 信 電 工

常務取締役 福原 洋〔昭和38年卒〕

宇都宮市川俣町1056 ☎028-621-0123

藤田勝春法律事務所

弁護士 藤田勝春〔昭和35年卒〕

宇都宮市清住3-1-14 ☎028-625-3266

ホームページご案内

同窓会ホームページのURLが変わります。

URL:<http://www.sakushin-ogob.gr.jp/>

花 と 園 芸

(株)藤野グリーンセンター

代表取締役 藤野善勝〔昭和35年卒〕

宇都宮市さつき2丁目3-5 ☎028-653-8660

三 正 建 設

代表取締役 船見 正〔昭和40年卒〕

取締役部長 船見佳正〔平成4年卒〕

宇都宮市大曾5-3-6 ☎028-622-5830